

まちのひとに聞きました

あなたが選ぶ「紹介したい観光スポット」

名寄市には、四季が織りなす自然の情景、そして多くの観光資源があります。わがまちを見つめ、これまで意識していなかった名寄の魅力を発見していただくアンケート調査を実施しました。回答をいただいた皆さまには、名寄の観光セールスに着目し「わたしのおすすめスポット」を紹介していただきました。

質問の内容

名寄市以外の方に名寄市の観光スポットを紹介するとしたら『○○○』を紹介しますか。

- 1 紹介したいスポット(場所や施設)を一つ記入してください。
- 2 その理由を簡単に記入してください。

調査対象

性別、住所(智恵文地区・名寄地区・風連地区)年代(小学生・中学生・高校生・大学生・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳・64歳・65歳以上)を配慮

地区については、回答者を人口に対する地区割合で割り付け設定。調査対象人数150人

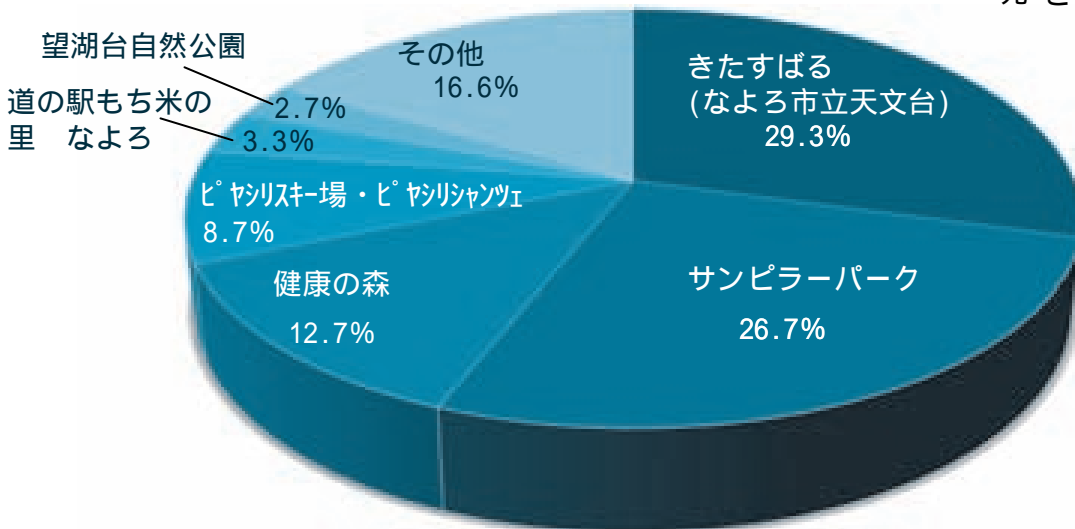
調査方法

地区ごとに街頭での聞き取り調査、通行者への聞き取り調査が中心。児童・生徒へは、おもに保護者を通して配布と回収。

実施時期
調査実施

7月上旬
名寄市情報広報課広報係
☎3・2111 内線3403

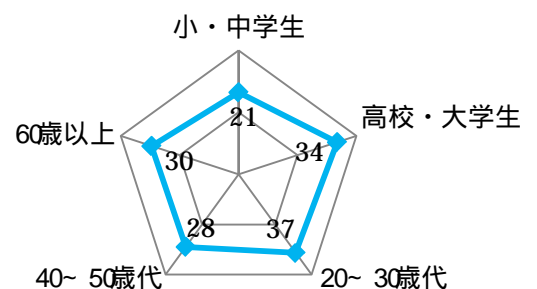
わたしのおすすめスポット



ランキング	場所や施設名	回答者	割合
1	きたすばる(なよろ市立天文台)	44名	29.3%
2	道立サンピラーパーク	40名	26.7%
3	なよろ健康の森	19名	12.7%
4	ピヤリスキー場・ピヤリジャンツェ	13名	8.7%
5	道の駅もち米の里 なよろ	5名	3.3%
6	ふうれん望湖台自然公園	4名	2.7%
7	その他 (公園など)	25名	16.6%

なよろ市立天文台は道立サンピラーパーク星見の丘に所在しますが、施設名指定分を天文台の回答人数としています。

回答者(年代別)



TOP RANKING SPOTS

きたすばる(なよろ市立天文台)



サンピラーパーク



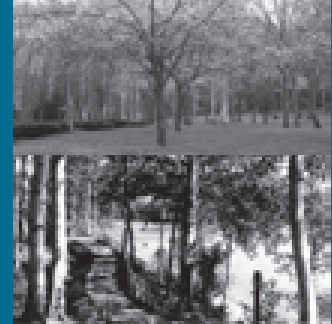
なよろ健康の森



道の駅もち米の里
なよろ



ふうれん望湖台自然公園



この調査は、平成22年7月上旬におこなったもので、観光の中でも「場所や施設」に限定して実施しています。

おすすめスポットとして最も人気が高かったのは、4月にオープンしたなよろ市立天文台『きたすばる』でした。特に大学生以上の支持が高く、被害が少なく澄んだ大気、安定した気流など恵まれた天体観測環境。

「市立木原天文台」時代から継承された観測技術に加え、新たな施設設備の充実。そして市民団体による支援体制など、複数要素が連動してオープン3カ月で成果を上げています。今後も名寄の観光の核として、また、新たな産業のヒントが秘められたスポットと言えます。

続いて、道立サンピラーパーク。高校生そして子育て世代に人気がありました。理由として多かったのは「ふわふわドームが楽しい」「遊具が充実している」「カールリングホールが自慢できる」など。親子で楽しめるエリア。

なよろ健康の森は50歳代以上に評判がよく、選んだ理由として「森林浴ができる」「自然を感じる」「パークゴルフが楽しめる」「陸上競技場などがある」など。自然を満喫できるリフレック

シユゾーン。

ピヤシリスキー場やピヤシリシャンツェは各世代から「雪質日本一のスキー場」「世界級の選手が来るシャンツェ」として自慢できるといった理由。冬になると、さらに人気が上昇するエリア。

道の駅もち米の里 なよるは「名寄の特産品が販売されている」「レストランがある」など特産品が購入でき、くつろげるスポット。また、ふうれん望湖台自然公園は「花が楽しめる」「自然が満喫できる」「忠烈布湖を中心とした絶景エリア」。

その他としては「名寄公園」「浅江島公園」「大学公園」などの公園「洋菓子&レストラン」「商業施設」など、それぞれ2〜3名の回答がありました。

以上、名寄の豊かな自然環境を活かした施設・エリア、子どもと楽しめる場所などがおすすめスポットに挙げられました。

今回の上位にランキングされたエリアは、名寄市のホームページで国内向けのほか、名寄市の国際姉妹都市、国際友好都市としてアジア圏への発信に向けて準備を進めています。また、この調査結果は今後の行政推進の参考とさせていただきます。